

(臨床研究に関するお知らせ)

日本赤十字社和歌山医療センターに入院され、リハビリテーション（以下、リハ）を受けた患者さんへ

心臓血管外科の手術は、低侵襲化や術後管理の進歩にともなって、超高齢者や高リスク患者に対しても手術適応が拡大しており、術後に身体機能を低下させないように早期からのリハが重要となります。当院でも術翌日からガイドラインに則した標準的なリハを提供することができているのかを検討することに加えて、術後リハの進行における遅延の割合および遅延理由を明らかにするために、過去の診療情報や検査データなどを振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させていただく研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報などが利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

心臓血管外科術後リハビリテーションの進行状況の検討

#### 2. 研究責任者

日本赤十字社和歌山医療センター リハビリテーション部 理学療法士 林 広太郎

#### 3. 研究の目的

当院で心臓血管外科術後から標準的なリハが実施された患者さんのデータを収集、解析することで、術後リハの進行における遅延の割合および遅延理由を明らかにして、その遅延に関わる因子を検討することを目的としています。

#### 4. 研究の概要

##### (1)対象となる患者さん

2020年4月から2030年3月までに当院心臓血管外科に入院して術後リハを受けた患者さんを対象としています。

##### (2)利用させていただく情報

この研究で利用させていただくデータは、患者さんの年齢、性別、既往歴、要介護・要支援者、術前後 SPPB、術前後 MRC スコア、術前後 Barthel Index、手術時間、術後歩行開始日、術後 400m 歩行達成日、術後歩行自立日、術後集団リハ移行日、術後在院日数に関する

電子カルテ内の情報です。

(3)方法

心臓血管外科に入院され手術をしこうされた患者さんのデータを電子カルテで調査させていただきます。患者さんのデータ解析を行い、術翌日からのリハを実施状況を調べます。

(4)個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

(5)ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報などが利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

(6)資金源および利益相反などについて

記載すべき経済的な利益関係や利益相反はありません。

5. 問い合わせ先

和歌山県和歌山市小松原通四丁目 20 番地

日本赤十字社和歌山医療センター リハビリテーション部 理学療法士 林 広太郎

電話：073-422-4171